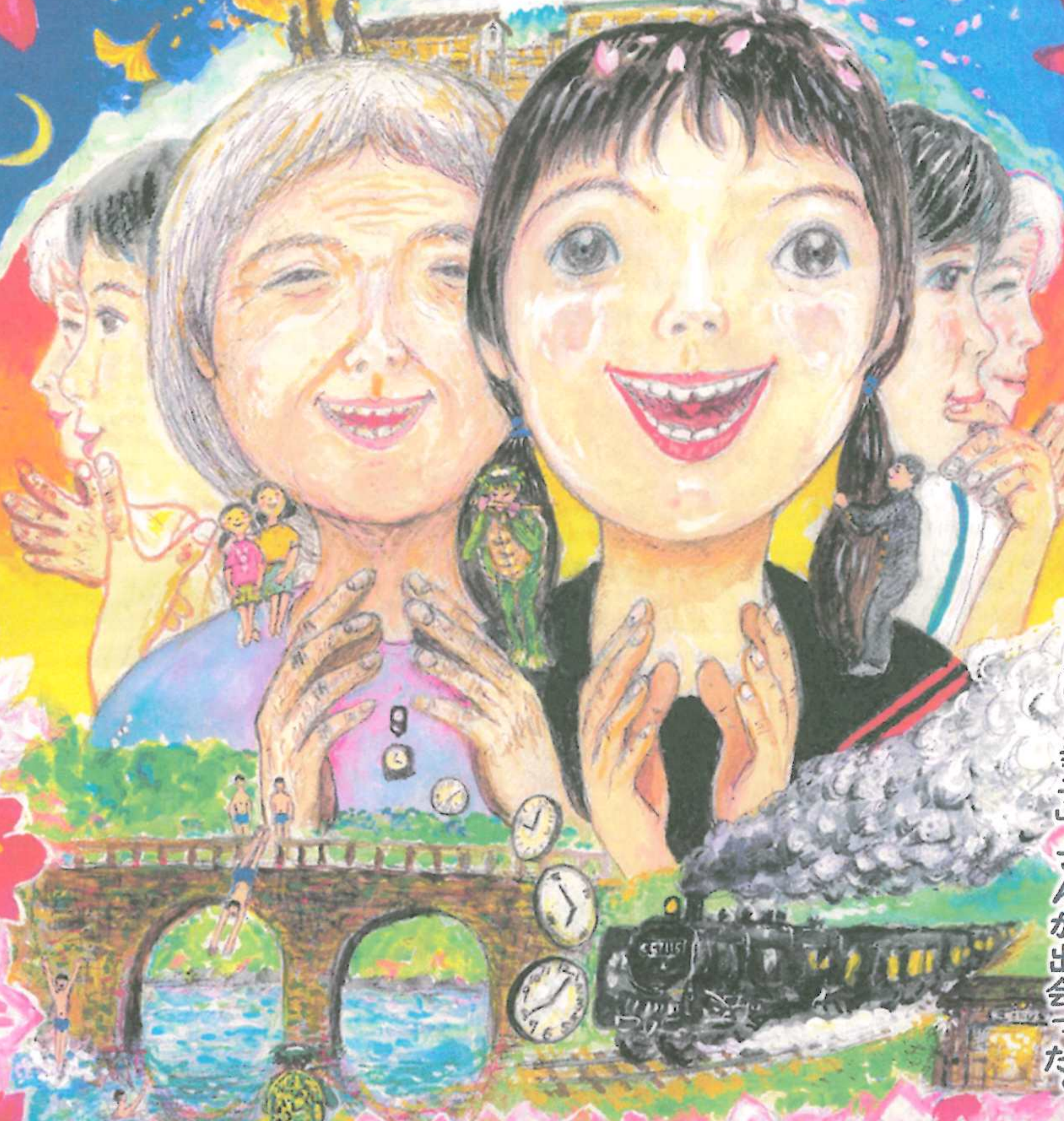


# しあわせなら手をたたこう

構成・演出 / 永山智行

昭和三十二年。三股中の校歌が制定された年。  
そんな三股中の三年三組で、三人の「幸子」さんが出会った。

時代を彩った数々の音楽の生演奏とともに、  
三股町で生きることの「しあわせ」をあらためて味わう物語が、いま、生まれます。



12 / 24 [土] 19:00 開演

12 / 25 [日] 14:00 開演

一般・・・1,000 円 (当日同料金)  
大学生以下・・・500 円 (当日同料金)  
ペア・・・1,500 円 (前売のみ)

■作 / 令和 2 年度三股町立文化会館戯曲講座受講生

■出演 / 公募で集まった町民の皆さん (21 名) みまた座 19 期生 (27 名)、劇団こぶく劇場、ほか

■料金 / 一般・・・1,000 円 (当日同料金)、大学生以下・・・500 円 (当日同料金)、ペア・・・1,500 円 (前売のみ)

※日時指定・全席自由 ※電話予約・WEB予約可 ※大学生以下は、入場の際「学生証」の提示 ※親子室が利用できます

■チケット販売開始 11 月 19 日 (土) ■会場 / 三股町立文化会館 ■主催 / 三股町、三股町教育委員会

■お問い合わせ・チケット取扱・ご予約三股町立文化会館 【電話】0986-51-3462 <https://bunka.town.mimata.lg.jp>







# しあわせなら手をたたこう

構成・演出／永山智行

昭和三十二年。三股中の校歌が制定された年。  
そんな三股中の三年三組で、三人の「幸子」さんが出会った。  
三人の名前は「ゆきこ」と「こうこ」と「さちこ」。  
それから三人は、様々な人々との出会いと別れを重ねながら、それぞれの人生を歩み、  
やがて時代は「昭和」から「平成」、そして新しい元号へと変わっていく。  
八十歳を前にもう一度出会った三人は、いま、何を思うのだろうか……

■作／令和2年度三股町立文化会館戯曲講座受講生：大嶋裕子、大村しのぶ、後藤慎太郎、砂川香菜恵、黒葛原理、中村里桜、福島祐、別府勝子、松下茜、安平香凛、山下夏未  
■出演／公募で集まった町民の皆さん（20名）：池田陸人、磯口楓、磯口智美、磯口穂乃佳、今元里司、大村しのぶ、大村なつみ、清山美咲、黒木尚美、後藤慎太郎、下沖叶佳、砂川香菜恵、中川克己、中城清治、中前みどり、中村のぞみ、榎田維知子、矢野和代、矢野智彦、別府勝子  
みまた座 19 期生（27名）：小田絆愛、甲斐星々、川口也実、小松山大我、笠島正輝、藏元瑠那、栗畑圭汰、齊藤真実、下沖由依、高橋絢弥音、高松咲花、堤桜華、堤穂華、手島華音、中村心春、那須夏帆、濱口創、濱口慎之介、東峯明依、本田みなみ、松園奏、丸田兼誠、丸田智文、村上七海、村脇拓典、森美樹乃  
劇団こふく劇場：かみもと千春、濱沙果宏、大迫紗佑里、有村香澄、池田孝彰、ほか  
■音楽／かみもと千春 ■演奏／上之園謙治（ドラム&パーカッション）・中村大介（キーボード）ほか  
■特別出演／愛川義夫（ギター） ■チラシ原画／河野宗平

■公演日時【2回公演】  
12/24[土] 19:00  
12/25[日] 14:00  
※開場は開演の30分前  
■公演日時【2回公演】  
一 般 1,000円  
大学生以下 500円  
ペ ア 1,500円  
※日時指定・全席自由 ※当日同料金  
※ペアチケットは前売りのみ販売  
※電話予約・WEB予約可  
※大学生以下は入場時、学生証の提示  
※親子室が利用できます

～ 演出ノート ～

手ざわりや息づかみやぬくもりや  
デジタル、な時代なのだそうです。お年玉だって電子マネーとやらでクラウドかどこかに数字のデータとして送るとか、昭和40年代生まれのわたしには、もうよくわからないことも起きているみたいです。何もかもがデータとして画面の向こうに収められ、今や、この手で触れられないものの方が多いのかもしれない。思い出の写真ですら電子データとなり、アルバムを手にとり懐かしがりながら、頁を繰ることも、ほとんどなくなってしまいました。  
けれどそんな時代の流れとはまるっきり逆に、ここには、この三股町立文化会館には、20年間、目の前にいる人たちの息づかみやぬくもりを、ただひたすらお互いを感じ合う時間がいつもありました。  
やがて息を止め、ぬくもりを失い、手で触れることもできなくなるわたしたちだからこそ、いま生きている人、かつて生きていた人たちのことを電子の「データ」ではなく、「思い出」として、このからだの内にとどめておくことは、人が人であるためにほんとうに大事なことのように思うのです。  
さて、いよいよ6年ぶりの町民参加舞台作品です。その日、多くみなさんとここで、この文化会館で、手ざわりや息づかみやぬくもりを、お互いに深く感じ合いたいと思っています。いつかそれがわたしの、そしてみなさんの、大事な「思い出」となりますよう。

永山智行（劇団こふく劇場）



三股町立文化会館  
ホームページ

三股町／三股の名の起源は、「延喜兵部省式」の水俣駅や、「日向国田原」の三俣院に求められます。現在の町域が形成したのは、明治3年9月に勝岡郷と梶山郷が合併し下三俣郷へ。そして、明治22年5月1日に、宮村・榎山村・長田村・餅原村・藜池村の5村が合併し、三股村が誕生。大正3年には、三股駅が開通し三股は大きく発展、昭和23年5月3日の町制施行により名実ともに三股町が誕生しました。平成の大合併においては単独町制を選択し、現在に至るまで農林業や商工業などの振興を図りながら町民参加型の「自立と協働で創る 元気なまち」を目指し、躍進しています。町の花／サツキ、町の鳥／ホオジロ、町の木／イチヨウ

三股町総合文化施設／人口2万5千人超の町「三股町」にある文化会館と図書館とが一体となった施設。2001年11月に、413席の劇場型多目的ホール、楽屋4部屋と、練習室、会議室がある三股町立文化会館、開架・閉架合わせて10万冊規模の三股町立図書館を弄する施設として開館。三股町立文化会館では、開館当初から地域で活動するアーティストとともに事業を行い、劇団こふく劇場（代表：永山智行）と連携し、戯曲講座「せりふ書いてみる?」、子どものための演劇ワークショップ「みまた座」などの講座を20年近く続けている。2011年には、施設開設10周年の、三股町初の町民参加型の演劇公演、三股町の歴史と人々の生活を織り込んだオリジナル劇『おはよう、わが町』を上演（会館15周年にも再演）。以降、そこに参加した町民の皆さまとともに、町の演劇祭、みまた演劇フェスティバル「まちドラ!」を開催し、毎年5月は、町民とともに全国各地から劇団が集まる演劇祭として、10年続く三股の町の風物詩となっている。これらの事業が高く評価され、同館は県内の文化施設で初めて、平成24年度地域創造大賞総務大臣賞も受賞している。2021年に開設20周年を迎える

**三股町立文化会館**  
Mimata 〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字榎山3404-2  
【主催】三股町・三股町教育委員会  
【お問い合わせ・チケット取扱・ご予約】三股町立文化会館  
文化のちからで げんきに。 0986-51-3462  
電話予約 休館日(月曜日)を除く午前9時～午後5時  
WEB予約 <https://bunka.town.mimata.lg.jp>



- 開催にあたりご協力ください
- (1) チケットの取扱は、窓口、電話、HPでのご予約のみといたします。
  - (2) 定員制とし、入場者のご連絡先把握をさせていただきます。
  - (3) 体調に不安のある方はご来場をご遠慮ください。
  - (4) 消毒やマスク着用にご協力ください。
  - (5) 入場時、検温を行います。
  - (6) お客様の体調によっては入場をお断りすることがあります。
  - (7) 客席は、1席空けてお座りください。
  - (8) 場内の消毒、換気のための休憩を入れる場合があります。
  - (9) 感染状況により、公演が延期や中止になる場合がございます。
- 三股町・三股町教育委員会